

## 商店街活性化事業計画の概要

地域

長野県佐久市

認定日

平成23年3月31日

**事業名：車社会に対応した買い物弱者にやさしいまちづくりのための再活性化事業**

事業者名： 中込商店会協同組合（長野県佐久市）

事業実施期間： 平成23年5月～平成28年3月

### ■商店街活性化事業の概要

- ・新幹線佐久平駅周辺の商業集積との競合と、商店街から大型店が撤退した影響により、当商店街は衰退傾向が続いている。またおよそ30年前の商店街近代化事業により完成した歩行者専用道路は、圧倒的に車で来街する人が多い当地ではアクセスの障害となっている。
- ・このため、住民ニーズに沿った駐車場の新設と利用促進事業、イベント事業、拠点づくり事業、まちづくり・店づくり研修事業により商業機能とコミュニティーの中心としての機能を充実させ、商店街の活性化を目指す。

### ■商店街活性化事業の内容

#### ◆地域住民ニーズ

- ・アンケートでは駐車場、店の品揃えの充実、街の駅での産直ショップや朝市などのイベント、エコ活動などの要望があった。

#### ◆実施計画の主な内容

##### ・駐車場の新設と利用促進事業への取組

歩行者専用道路の一部を市から借り受け、駐車場として整備し、利用案内の充実や利用促進を図ることによって、利用者の利便性を確保すると同時に、来街頻度の増加および各店の売り上げの増加につなげる。

##### ・イベント事業への取組

「地産地消とれたて市」、佐久市の友好姉妹都市を中心とした「友好都市ふるさと物産市」などのイベントを数多く開催することによって来街機会を増やし、地域コミュニティとの連携を強める。

##### ・空き店舗を活用した拠点づくり事業への取組

住民参加により、手づくり教室・趣味の展示発表・健康相談・子育て相談などを開催し、商店街が地域コミュニティの活動拠点となるよう地域に貢献する事業を積極的に実施する。

##### ・まちづくり・店づくり研修事業への取組

顧客ニーズを調査し、品揃え等を改善することによって来店頻度の増加、売り上げの増加に結びつける。

### ■商店街活性化事業計画の目標

- ・数値目標は、現在の通行量、平成23年1月16日（日）が242人、同18日（火）が376人に対し、事業3年目の第4四半期の同時期である平成26年1月に3倍以上の通行量を目指す。

【商店街の様子】

グリーンモール（歩行者専用道路）

【もってえねえ市】

【駅前グリーンモール】

駐車場化を計画している

